

発 言 通 告 書 要 旨 (1枚目／全3枚)

氏名 上野 清隆

発言番号		発言事項及び発言要旨	備考
1	(1)	<p>児童発達支援センター「このゆびとーまれ山中」事業について 事業の今後及び支援体制について</p> <p>中山温泉ぬくもり診療所の指定管理が本年度で終了し、加賀市病院事業へ編入予定となっている。これに伴い、同診療所が行ってきた自主事業である児童発達支援センター「このゆびとーまれ山中」についても、現行の形での継続が困難となり事業の停止が見込まれる。この自主事業の今後の扱いを市としてどのように認識し、継続の可能性をどのように捉えているのか。</p> <p>また、代替となる支援体制の構築についてどのような方針か。</p>	
	(2)	<p>職員の処遇などについて</p> <p>長年にわたり専門性をもって支援を行ってきた職員の処遇や役割の継続について、市としてどのように配慮・対応していくのか。</p>	
	(3)	<p>利用者・職員・地域住民への説明について</p> <p>事業の終了や移行にあたって、利用者や職員・地域住民の不安は高まっている。市として、これまでの経緯と今後の方針を地域住民に説明し、理解を得る必要があると考えるが、所見を問う。</p>	
2	(1)	<p>障がいのある方やその家族、支援者への投票制度の周知と支援体制について</p> <p>投票はすべての市民に保障された権利であり、障がいのある方が安心して投票できる環境整備はもちろんのこと、その家族や支援者が適切な支援の下で安心して関わることができる体制づくりは、大変重要である。そこで、次の2点について問う。</p> <p>投票制度の周知と支援体制について</p> <p>障がいのある方が安心して投票に参加できるように、投票制度の分かりやすい周知と、投票所での適切な支援体制の整備が必要である。また、家族や支援者が制度を正しく理解し、適切な形で支援に関われるような情報提供や環境づくりが重要であると考える。</p> <p>そこで、障がいのある方やその家族、障害福祉事業所向けに、投票の流れや投票制度などを分かりやすく伝えるパンフレットや動画教材を配布したり、模擬投票など事前に体験できる機会の創出が必要であると考えるが、所見を問う。</p>	

発 言 通 告 書 要 旨 (2枚目／全3枚)

氏名 上野 清隆

発言事項及び発言要旨			備考
発言番号			
	(2)	<p>投票所職員への研修について 障がいのある方が安心して投票でき、そしてその家族や支援者が安心して投票支援に関わるためにには、投票所職員の適切な対応が重要である。障がいの特性に応じた対応ができるように、福祉的視点を取り入れた研修を定期的に実施することが望ましいと考えるが、所見を問う。</p>	
3		<p>大聖寺城跡国史跡指定を契機とした学校教育・観光資源への活用について 令和7年9月18日に大聖寺城跡が国史跡に正式に指定された。大聖寺城跡は戦国期から織豊期にかけて、加賀の支配をめぐる攻防が繰り広げられた北陸の政治情勢の変化を知る上で重要な城跡であり、大聖寺城跡の国史跡指定は、加賀市民にとって大きな誇りであり、加賀市の歴史的価値を再認識する重要な契機だと考える。そこで、以下の点について問う。</p> <p>教育資源としての活用方針について 地域の歴史資源を未来へつなぐためには、市民一人一人がその価値を理解し、関わることが重要と考える。今後、教育委員会としてどのように学校教育や生涯学習の中で大聖寺城跡を活用し、市民への啓発を進めるのか。</p>	
	(2)	<p>観光資源としての活用方針について 大聖寺城跡は国史跡指定にもなり、歴史的背景も含めて観光資源としてのポテンシャルは高いと考える。観光資源としての活用とPRの方針を示せ。</p>	
4	(1)	<p>坂網猟について 鴨池管理番所の建て替えの進捗状況について 加賀市の片野鴨池は、ラムサール条約に登録された貴重な湿地であり、そこに根付く「坂網猟」は江戸時代から続く全国的にも希少な伝統猟法である。この文化は、自然との共生を象徴する地域の誇りであり、同時に観光資源としての大きな可能性を秘めていると考える。この坂網猟の拠点である「鴨池管理番所」の老朽化に伴う建て替えの検討が進められているが、具体的な進捗状況や、今後のスケジュールを示せ。</p>	

発 言 通 告 書 要 旨 (3枚目／全3枚)

氏名 上野 清隆			
発言番号	発言事項及び発言要旨		備考
(2)	<p>観光資源の活用方針について 坂網獣が県無形民俗文化財に指定されることが決まったが、この坂網獣の体験や見学の機会を観光プログラムとして発信することや、坂網獣の道具や歴史を紹介する展示を加賀温泉駅などの拠点に設けることで、来訪者への認知向上や地域の魅力発信につながると考える。坂網獣の観光資源としての活用とPRの方針を示せ。</p>		